

大阪公立大学&大阪ガスネットワークCEL共同研究 報告会 〈新たな都市居住文化を育む、 潜在的グリーンインフラの可能性を探る ～上町台地界隈をフィールドに～〉

大阪・上町台地界隈は、都心部に位置すると同時に縁辺部との境界域にあり、歴史的に多様な土地利用が重層し、大変興味深い空間文化が形づくられてきました。上町台地の地形と歴史を縁取るように存在する緑、それらと密接に関わる生活文化の痕跡に学ぶことも多々あります。

そこで、近年、同エリアにおいて顕著に見られる都心回帰・都心居住の動向も踏まえ、台地の微地形や民有地や建築空間を含む細やかな緑、これらを活用したコミュニティ活動等を「潜在的グリーンインフラ」と位置づけ、新たな都市居住文化を育むための、潜在的グリーンインフラの可能性を多面的に探るべく、昨年度、大阪公立大学とCELは共同研究に取り組みました。

このたびの報告会では、上町台地界隈の空間文化誌の読み解きをプロローグに、柱となる3つのアプローチ「潜在的グリーンインフラの景観分析と価値づけ」、「3D都市モデルを用いた潜在的グリーンインフラの可視化」、「潜在的グリーンインフラの都市型食・農資源としての可能性の検討」について、各担当者からご報告させていただきます。さらに、コメンテーターに武田重昭・大阪公立大学大学院農学研究科教授をお迎えし、みなさまとともにディスカッションを行います。歴史と現在・未来をつなぎ、オープンデータを市民のツールとして活かし、潜在的グリーンインフラの可能性を拓ききっかけとなることを願っています。

■日時：2026年7月4日（土）14:00～16:30 ※13:30開場

■会場：実験集合住宅NEXT21 2階ホール（大阪市天王寺区清水谷町6-16）

■会場参加定員：50名程度（お申込順）

※後日録画視聴のお申込みも可（希望者対象に1カ月間限定配信）

■申込方法：<https://forms.gle/fUBunBXnUhw3g5hu8>

上記URLか右の二次元コードからお申込みください。

※お申込み期限：7月2日



■プログラム：

14:00～14:05 開会・研究代表者からご挨拶

高木悠里（大阪公立大学大学院工学研究科都市系専攻講師）

14:05～14:20 プロローグ：研究フィールド・上町台地界隈の空間文化誌を概観する

弘本由香里（大阪ガスネットワークCEL特任研究員）

14:20～14:50 アプローチ1：潜在的グリーンインフラの景観分析と価値づけから

高木悠里（前掲）

瀬浦侃央（大阪公立大学工学部都市学科卒業生）

14:50～15:20 アプローチ2：3D都市モデルを用いた潜在的グリーンインフラの可視化から

米澤 剛（大阪公立大学大学院工学研究科都市系専攻教授）

金野百花（大阪公立大学大学院工学研究科都市系専攻博士前期課程）

15:20～15:40 アプローチ3：潜在的グリーンインフラの都市型食・農資源としての可能性の検討から

弘本由香里（前掲）

（休憩）

15:50～16:25 ディスカッション：新たな都市居住文化を育む、潜在的グリーンインフラの可能性を拓くために

コメンテーター：

武田重昭（大阪公立大学大学院農学研究科緑地環境科学専攻教授）

パネリスト（報告者）：

高木悠里※・瀬浦侃央、米澤 剛・金野百花、弘本由香里※ ※進行兼

16:25～16:30 主催者からご挨拶・閉会

■主催：大阪ガスネットワーク エネルギー・文化研究所（CEL）

■問合せ先：大阪ガスネットワークCEL・弘本

（hiromoto@osakagas.co.jp、080-1510-0259）